新学習指導要領に対応した学習評価
（小学校　外国語科）

文部科学省
初等中等教育局　視学官
直山　木綿子

目次

1. 本研修動画の趣旨及び活用の仕方

2. 研修の流れ

3. 学習評価の具体と「なるほど！小学校外国語③学習評価」動画の振り返り

１．本研修動画の趣旨

・本動画は、小学校外国語教育における学習評価について理解を深めていただくために、文部科学省mextchannel「なるほど！小学校外国語③ 学習評価」動画を視聴をいただいていることを前提に、校内研修等でご活用いただけるよう作成しています。

１．本研修動画の趣旨

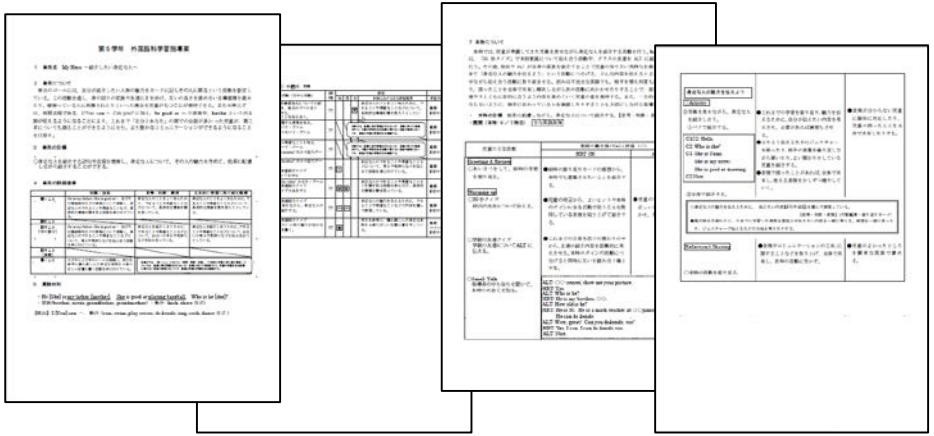
・本動画は、小学校外国語教育における学習評価について理解を深めていただくために、文部科学省mextchannel「なるほど！小学校外国語③ 学習評価」動画を視聴をいただいていることを前提に、校内研修等でご活用いただけるよう作成しています。

１．本研修動画の趣旨

・文部科学省mextchannel「なるほど！小学校外国語③学習評価」動画へは、NITSウェブサイト内にある本動画下の「関連リンク」からもアクセスすることができます。

１．本研修動画の趣旨

・そこで、その動画を視聴のうえ、事前に資料「第5学年外国語科学習指導案例」をダウンロードしお手元にご準備をいただき、ご視聴いただきますようお願いします。
なお、資料はNITSウェブサイト内の本動画掲載ページ下部「関連資料ダウンロード」よりダウンロードいただけます。



１．本研修動画の活用の仕方

①事前に視聴した「なるほど！小学校外国語③ 学習評価」で理解したことを基に、個人で「第5学年外国語科指導案例」を読み、指導案例の指導と評価の在り方について考える。(10分程度)
②個人で考えたことを、ペアやグループで交流する。(10分程度)
③交流したことを、全体で共有する。(10分程度)
④全体で共有したことについて、本動画を視聴しながら振り返る。

２．研修の流れ

①事前に視聴した「なるほど！小学校外国語③ 学習評価」で理解したことを基に、各自で「第5学年外国語科指導案例」を読み、指導案例の指導と評価の在り方について考えてください。(10分程度本動画を停止状態にする)

２．研修の流れ

②次に、個人で考えたことを、ペアやグループで交流してください。(10分程度本動画を停止状態にする)

２．研修の流れ

③ペアやグループで交流したことを、全体で共有してください。
(10分程度本動画を停止状態にする)

２．研修の流れ

④全体で共有したことについて、本動画を視聴しながら振り返ってください。（このままご視聴ください）

3．学習評価の具体

「第5学年外国語科学習指導案例」のどの部分が、指導と学習評価について課題があると思われますか。

３．学習評価の具体

次の４点について、この後の動画を視聴して検討をしてください。

①「３　単元の目標」と「４　単元の評価規準」はあっているか。

②「６　単元指導計画」で「評価」場面のある時間の目標と、その「本時における評価規準」はあっているか。

③「６　単元指導計画」では、第1時に「聞くこと」について「主体的に学習に取り組む態度」で記録に残す評価を行っているが、適切か。

④「６　単元指導計画」では、第５時に「聞くこと」、第６時に「話すこと［やり取り］」について、それぞれ「思考・判断・表現」で記録に残す評価を行っているが適切か。

3．学習評価の具体

①「３　単元の目標」と「４　単元の評価規準」はあっているか。

３　単元の目標

○身近な人を紹介する語句や表現を理解し、身近な人について、その人の魅力を含めて、他者に配慮しながら紹介することができる。

４　単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	He is my father. She is good at ~. 及びその関連語句などの表現について理解し，身近な人のできることや得意なことなど，具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。	身近な人のことをよく知るために，できることや得意なことなどについて，具体的な情報を聞き取っている。	身近な人のことをよく知るために，できることや得意なことなどについて，具体的な情報を聞き取ろうとしている。
読むこと			
話すこと［やり取り］	He is my father. She is good at ~. 及びその関連語句などの表現について理解し，身近な人のできることや得意なことなどについて，考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。	身近な人を紹介し合うために，できることや得意なことなどについて，お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。	身近な人を紹介し合うために，できることや得意なことなどについて，お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。
話すこと［発表］			
書くこと	大文字と小文字のルールを理解し，例文を参考に慣れ親しんだ身近な単語を４線の正しい位置に書く技能を身に付けている。	本単元では，「書くこと」における「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」については，記録に残す評価は行わないが，目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても，教師が児童の学習状況を確認する。	

3．「なるほど！小学校外国語③ 学習評価」動画の振り返り

評価規準の作成

自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために，相手の誕生日や好きなもの，欲しいものなど，具体的な情報を聞き取ったり，誕生日や好きなもの，欲しいものなどについて伝え合ったりできる。また,アルファベットの活字体の大文字を書くことができる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<知識>月日の言い方や，I like/want ～. Do you like/want ～? What do you like/want? When is your birthday?，その答え方について理解している。 <技能> 誕生日や好きなもの，欲しいものなど，具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。	相手のことをよく知るために，誕生日や好きなもの，欲しいも のなど，具体的な情報を聞き取っている。	相手のことをよく知るために，誕生日や好きなもの，欲しいものなど，具体的な情報を聞き取ろうとしている。
話すこと[やり取り]	<知識>月日の言い方や，I like/want ～. Do you like/want ～? What do you like/want? When is your birthday?，その答え方について理解している。 <技能>誕生日や好きなもの，欲しいものなどについて，I like/want ～. Do you like/want ～? What do you like/want ～? When is your birthday?等を用いて，考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。	自分のことをよく知ってもら ったり相手のことをよく知っ たりするために，自分や相手の 誕生日や好きなもの，欲しいも のなどについて，お互いの考えや気持ちなどを伝え合ってい る。	自分のことをよく知ってもら ったり相手のことをよく知っ たりするために，自分や相手の誕生日や好きなもの，欲しいも のなどについて，お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうと している。

3．「なるほど！小学校外国語③ 学習評価」動画の振り返り

評価規準の作成

自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために，相手の誕生日や好きなもの，欲しいものなど，具体的な情報を聞き取ったり，誕生日や好きなもの，欲しいものなどについて伝え合ったりできる。また,アルファベットの活字体の大文字を書くことができる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<知識>月日の言い方や，I like/want ～. Do you like/want ～? What do you like/want? When is your birthday?，その答え方について理解している。 <技能> 誕生日や好きなもの，欲しいものなど，具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。	相手のことをよく知るために，誕生日や好きなもの，欲しいも のなど，具体的な情報を聞き取っている。	相手のことをよく知るために，誕生日や好きなもの，欲しいものなど，具体的な情報を聞き取ろうとしている。
話すこと[やり取り]	<知識>月日の言い方や，I like/want ～. Do you like/want ～? What do you like/want? When is your birthday?，その答え方について理解している。 <技能>誕生日や好きなもの，欲しいものなどについて，I like/want ～. Do you like/want ～?	自分のことをよく知ってもら ったり相手のことをよく知っ たりするために，自分や相手の 誕生日や好きなもの，欲しいも のなどに	自分のことをよく知ってもら ったり相手のことをよく知っ たりするために，自分や相手の誕生日や好きなもの，欲しいも のなどについ

※なお、本単元における「書くこと」については目標に向けて指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない。

3．学習評価の具体

①「３　単元の目標」と「４　単元の評価規準」はあっているか。

３　単元の目標

○身近な人を紹介する語句や表現を理解し、身近な人について、その人の魅力を含めて、他者に配慮しながら紹介することができる。

４　単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	He is my father. She is good at ~. 及びその関連語句などの表現について理解し，身近な人のできることや得意なことなど，具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。	身近な人のことをよく知るために，できることや得意なことなどについて，具体的な情報を聞き取っている。	身近な人のことをよく知るために，できることや得意なことなどについて，具体的な情報を聞き取ろうとしている。
読むこと			
話すこと［やり取り］	He is my father. She is good at ~. 及びその関連語句などの表現について理解し，身近な人のできることや得意なことなどについて，考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。	身近な人を紹介し合うために，できることや得意なことなどについて，お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。	身近な人を紹介し合うために，できることや得意なことなどについて，お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうとしている。
話すこと［発表］			
書くこと	大文字と小文字のルールを理解し，例文を参考に慣れ親しんだ身近な単語を４線の正しい位置に書く技能を身に付けている。	本単元では，「書くこと」における「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」については，記録に残す評価は行わないが，目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても，教師が児童の学習状況を確認する。	

3．学習評価の具体

②「６　単元指導計画」で「評価」場面のある時間の目標と、その「本時における評価規準」はあっているか。

第三者を紹介する表現を知り、単元の見通しをもつ。

身近な人のことをよく知るために、できることや得意なことなどについて、具体的な情報を聞き取ろうとしている。

６　単元指導計画（全７時間）※◎は，本時

時	目標	主な活動（◎中心活動）	指導形態	評価 知	評価 思	評価 主	評価 本時における主な評価規準	評価方法
1	第三者を紹介する表現を知り，単元の見通しをもつ。	◎先生達の身近な人についての紹介を聞き，単元のゴールをイメージする。 ・できることを伝え合う。	TT			聞	身近な人のことをよく知るために，できることや得意なことなどについて，具体的な情報を聞き取ろうとしている。	書
2	家族に関する表現に慣れ親しむ。	・家族に関する表現を知る。 ・キーワード・ゲーム ◎ラッキーカード・ゲーム	TT				本時では，記録に残す評価は行わないが，目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても，教師が児童の学習状況を確認する。	観察 振り返りカード
3	得意なことを表す表現に慣れ親しむ。	・有名人の得意なことを知る。 ・キーワード・ゲーム ◎Who is he/she? カルタ取りゲーム	TT				本時では，記録に残す評価は行わないが，目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても，教師が児童の学習状況を確認する。	観察 振り返りカード
4	第三者を紹介する表現に慣れ親しむ。	・Who is he/she? カルタ取りゲーム ・５の３友達紹介クイズ ◎先生クイズを作る	TT	や			身近な人のできることや得意なことなどについて，考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。	観察 振り返りカード
5	第三者を紹介する表現に慣れ親しむ。	・Who is he / she? かるた・ゲーム ・５の３友達紹介クイズ ◎先生クイズ大会をする	TT	聞	聞		身近な人のできることや得意なことなどを聞き取る技能を身に付け，具体的な情報を聞き取っている。	観察 振り返りカード
⑥	他者に配慮しながら，身近な人について紹介する。	・学級の友達紹介クイズ ◎写真を見せながら，身近な人の魅力を紹介する。	TT	や	や		身近な人の魅力を伝えるために，できることや得意なことなどの内容を選んで表現している。	観察 振り返りカード
7	身近な人について紹介カードを書く。	・学級の友達紹介クイズ ◎紹介したい人物の魅力が伝わるカードを書く。	TT	書			例文を参考に，慣れ親しんだ身近な単語を４線の正しい位置に書き写している。	観察 ワークシート 振り返りカード

3．学習評価の具体

②「６　単元指導計画」で「評価」場面のある時間の目標と、その「本時における評価規準」はあっているか。

第三者を紹介する表現に慣れ親しむ。

身近な人のできることや得意なことなどを聞き取る技能を身に付け、具体的な情報を聞き取っている。

６　単元指導計画（全７時間）※◎は，本時

時	目標	主な活動（◎中心活動）	指導形態	評価 知	評価 思	評価 主	評価 本時における主な評価規準	評価方法
1	第三者を紹介する表現を知り，単元の見通しをもつ。	◎先生達の身近な人についての紹介を聞き，単元のゴールをイメージする。 ・できることを伝え合う。	TT			開	身近な人のことをよく知るために，できることや得意なことなどについて，具体的な情報を聞き取ろうとしている。	観察 振り返りカード
2	家族に関する表現に慣れ親しむ。	・家族に関する表現を知る。 ・キーワード・ゲーム ◎ラッキーカード・ゲーム	TT				本時では，記録に残す評価は行わないが，目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても，教師が児童の学習状況を確認する。	観察 振り返りカード
3	得意なことを表す表現に慣れ親しむ。	・有名人の得意なことを知る。 ・キーワード・ゲーム ◎Who is he/she? カルタ取りゲーム	TT				本時では，記録に残す評価は行わないが，目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても，教師が児童の学習状況を確認する。	観察 振り返りカード
4	第三者を紹介する表現に慣れ親しむ。	・Who is he/she? カルタ取りゲーム ・５の３友達紹介クイズ ◎先生クイズを作る	TT	や			身近な人のできることや得意なことなどについて，考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。	観察
5	第三者を紹介する表現に慣れ親しむ。	・Who is he / she? かるた・ゲーム ・５の３友達紹介クイズ ◎先生クイズ大会をする	TT	開	開		身近な人のできることや得意なことなどを聞き取る技能を身に付け，具体的な情報を聞き取っている。	観察 振り返りカード
⑥	他者に配慮しながら，身近な人について紹介する。	・学級の友達紹介クイズ ◎写真を見せながら，身近な人の魅力を紹介する。	TT	や	や		身近な人の魅力を伝えるために，できることや得意なことなどの内容を選んで表現している。	観察 振り返りカード
7	身近な人について紹介カードを書く。	・学級の友達紹介クイズ ◎紹介したい人物の魅力が伝わるカードを書く。	TT	書			例文を参考に，慣れ親しんだ身近な単語を４線の正しい位置に書き写している。	観察 ワークシート 振り返りカード

3．「なるほど！小学校外国語③ 学習評価」動画の振り返り

評価規準の作成

「学習評価参考資料」事例１
We Can! 1 「Unit 2 When is your birthday?」
の単元の目標と評価規準から，その作成の仕方について理解する

観点別学習状況の評価を的確に行うため，
学習指導要領に示す目標の実現の状況を
判断するよりどころを表現したものである。

MEXT MINISTRY OF EDUCATION, CULTURE, SPORTS, SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

3．学習評価の具体

②「６　単元指導計画」で「評価」場面のある時間の目標と、その「本時における評価規準」はあっているか。

第三者を紹介する表現を知り、単元の見通しをもつ。

第三者を紹介する表現に慣れ親しむ。

身近な人のことをよく知るために、できることや得意なことなどについて、具体的な情報を聞き取ろうとしている。

身近な人のできることや得意なことなどを聞き取る技能を身に付け、具体的な情報を聞き取っている。

６　単元指導計画（全７時間）※◎は，本時

時	目標	主な活動（◎中心活動）	指導形態	評価 知	評価 思	評価 主	評価 本時における主な評価規準	評価方法
1	第三者を紹介する表現を知り，単元の見通しをもつ。	◎先生達の身近な人についての紹介を聞き，単元のゴールをイメージする。 ・できることを伝え合う。	TT			聞	身近な人のことをよく知るために，できることや得意なことなどについて，具体的な情報を聞き取ろうとしている。	振り返りカード
2	家族に関する表現に慣れ親しむ。	・家族に関する表現を知る。 ・キーワード・ゲーム ◎ラッキーカード・ゲーム	TT				本時では，記録に残す評価は行わないが，目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても，教師が児童の学習状況を確認する。	観察 振り返りカード
3	得意なことを表す表現に慣れ親しむ。	・有名人の得意なことを知る。 ・キーワード・ゲーム ◎Who is he/she? カルタ取りゲーム	TT				本時では，記録に残す評価は行わないが，目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても，教師が児童の学習状況を確認する。	観察 振り返りカード
4	第三者を紹介する表現に慣れ親しむ。	・Who is he/she? カルタ取りゲーム ・５の３友達紹介クイズ ◎先生クイズを作る	TT	や			身近な人のできることや得意なことなどについて，考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。	観察 振り返りカード
5	第三者を紹介する表現に慣れ親しむ。	・Who is he / she? かるた・ゲーム ・５の３友達紹介クイズ ◎先生クイズ大会をする	TT	聞	聞		身近な人のできることや得意なことなどを聞き取る技能を身に付け，具体的な情報を聞き取っている。	振り返りカード
6	他者に配慮しながら，身近な人について紹介する。	・学級の友達紹介クイズ ◎写真を見せながら，身近な人の魅力を紹介する。	TT	や	や		身近な人の魅力を伝えるために，できることや得意なことなどの内容を選んで表現している。	観察 振り返りカード
7	身近な人について紹介カードを書く。	・学級の友達紹介クイズ ◎紹介したい人物の魅力が伝わるカードを書く。	TT	書			例文を参考に，慣れ親しんだ身近な単語を４線の正しい位置に書き写している。	観察 ワークシート 振り返りカード

3．学習評価の具体

③「６　単元指導計画」では、第1時に「聞くこと」について「主体的に学習に取り組む態度」で記録に残す評価を行っているが、適切か。

６　単元指導計画（全７時間）※◉は，本時

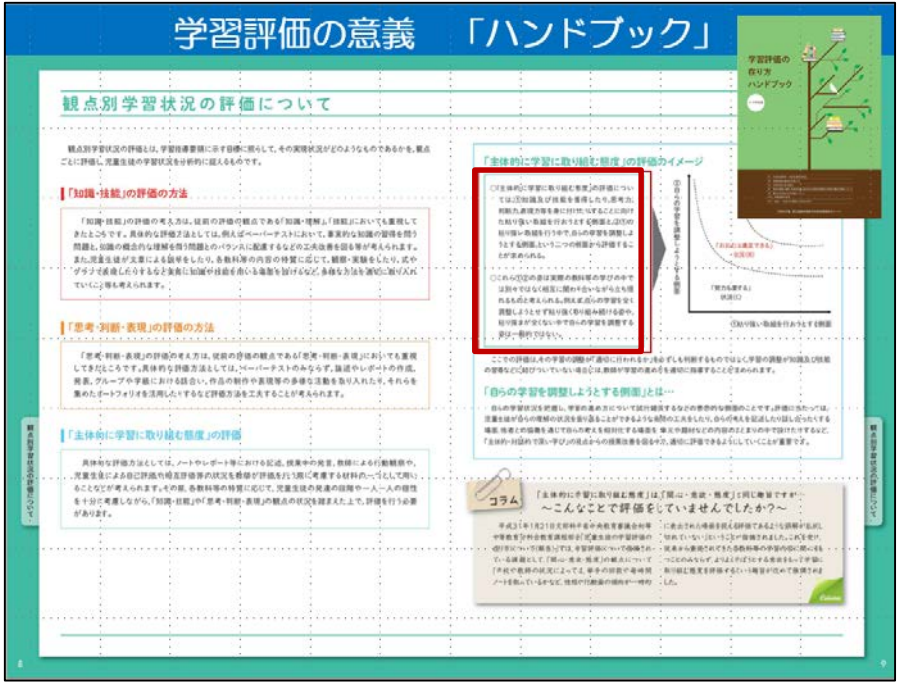
時	目標	主な活動（◎中心活動）	指導形態	評価 知	評価 思	評価 主	評価 本時における主な評価規準	評価方法
1	第三者を紹介する表現を知り，単元の見通しをもつ。	◎先生達の身近な人についての紹介を聞き，単元のゴールをイメージする。 ・できることを伝え合う。	TT			聞	身近な人のことをよく知るために，できることや得意なことなどについて，具体的な情報を聞き取ろうとしている。	観察 振り返りカード
2	家族に関する表現に慣れ親しむ。	・家族に関する表現を知る。 ・キーワード・ゲーム ◎ラッキーカード・ゲーム	TT				本時では，記録に残す評価は行わないが，目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても，教師が児童の学習状況を確認する。	観察 振り返りカード
3	得意なことを表す表現に慣れ親しむ。	・有名人の得意なことを知る。 ・キーワード・ゲーム ◎Who is he/she? カルタ取りゲーム	TT				本時では，記録に残す評価は行わないが，目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても，教師が児童の学習状況を確認する。	観察 振り返りカード
4	第三者を紹介する表現に慣れ親しむ。	・Who is he/she? カルタ取りゲーム ・５の３友達紹介クイズ ◎先生クイズを作る	TT	や			身近な人のできることや得意なことなどについて，考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。	観察 振り返りカード
5	第三者を紹介する表現に慣れ親しむ。	・Who is he / she? かるた・ゲーム ・５の３友達紹介クイズ ◎先生クイズ大会をする	TT	聞	聞		身近な人のできることや得意なことなどを聞き取る技能を身に付け，具体的な情報を聞き取っている。	観察 振り返りカード
⑥	他者に配慮しながら，身近な人について紹介する。	・学級の友達紹介クイズ ◎写真を見せながら，身近な人の魅力を紹介する。	TT	や	や		身近な人の魅力を伝えるために，できることや得意なことなどの内容を選んで表現している。	観察 振り返りカード
7	身近な人について紹介カードを書く。	・学級の友達紹介クイズ ◎紹介したい人物の魅力が伝わるカードを書く。	TT	書			例文を参考に，慣れ親しんだ身近な単語を４線の正しい位置に書き写している。	観察 ワークシート 振り返りカード

3．学習評価の具体

③「６　単元指導計画」で「評価」場面のある時間の目標と、その「本時における評価規準」はあっているか。

時	目標	主な活動（◎中心活動）	指導形態	評価				
				知	思	主	本時における主な評価規準	評価方法
1	第三者を紹介する表現を知り，単元の見通しをもつ。	◎先生達の身近な人についての紹介を聞き，単元のゴールをイメージする。 ・できることを伝え合う。	TT			聞	身近な人のことをよく知るために，できることや得意なことなどについて，具体的な情報を聞き取ろうとしている。	観察 振り返りカード

3．「なるほど！小学校外国語③ 学習評価」動画の振り返り

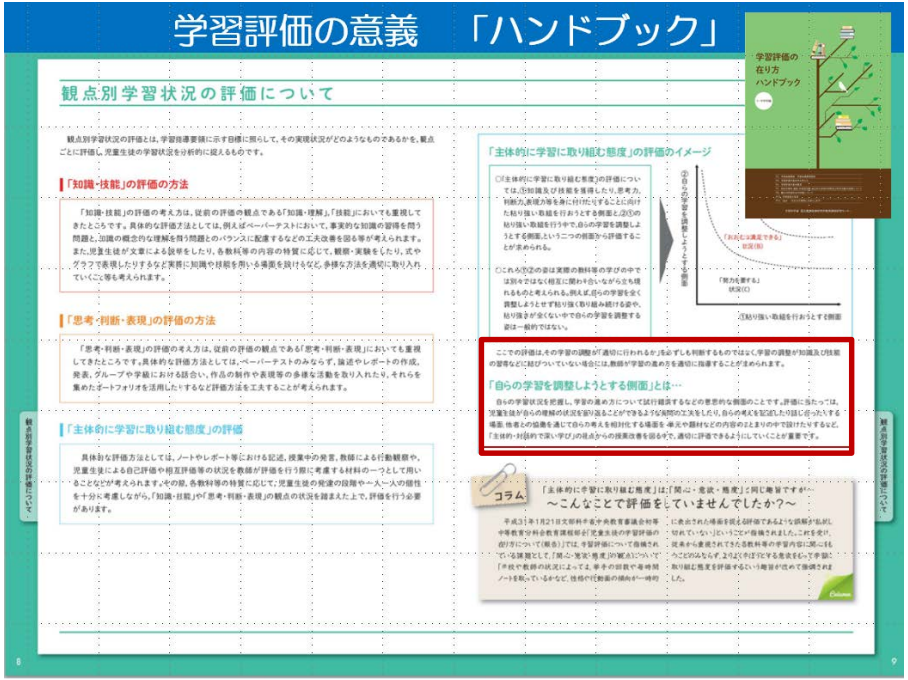


3．「なるほど！小学校外国語③ 学習評価」動画の振り返り

○主体的に学習に取り組む態度の評価については、①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面と、②①の粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面、という二つの側面から評価することが求められる。

○これら①②の姿は実際の教科等の学びの中では別々ではなく相互にかかわりあいながら立ち現れるものと考えられる。例えば、自らの学習を全く調整しようとせず粘り強く取り組み続ける姿や、粘り強さがまったくない中で自らの学習を調整する姿は一般的ではない。

3．「なるほど！小学校外国語③ 学習評価」動画の振り返り



3．「なるほど！小学校外国語③ 学習評価」動画の振り返り

ここでの評価は、その学習の調整が「適切に行われるか」を必ずしも判断するものではなく、学習の調整が知識及び技能の習得などに結び付いていない場合には、教師が学習の進め方を適切に指導することが求められます。

「自らの学習を調整しようとする側面」とは…

　自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなどの意思的な側面のことです。評価にあたっては、児童生徒が自らの理解の状況を振り返ることができるような発問の工夫をしたり、自らの考えを記述したり話し合ったりする場面、他者との協働を通じて自らの考えを相対化する場面を、単元や題材などのまとまりの中で設けたりするなど、「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を図る中で、適切に評価できるようにしていくことが重要です。

3．学習評価の具体

③「６　単元指導計画」では、第1時に「聞くこと」について「主体的に学習に取り組む態度」で記録に残す評価を行っているが、適切か。

６　単元指導計画（全７時間）※◉は，本時

時	目標	主な活動（◎中心活動）	指導形態	評価 知	評価 思	評価 主	評価 本時における主な評価規準	評価方法
1	第三者を紹介する表現を知り，単元の見通しをもつ。	◎先生達の身近な人についての紹介を聞き，単元のゴールをイメージする。 ・できることを伝え合う。	TT			聞	身近な人のことをよく知るために，できることや得意なことなどについて，具体的な情報を聞き取ろうとしている。	観察 振り返りカード
2	家族に関する表現に慣れ親しむ。	・家族に関する表現を知る。 ・キーワード・ゲーム ◎ラッキーカード・ゲーム	TT					観察 振り返りカード
3	得意なことを表す表現に慣れ親しむ。	・有名人の得意なことを知る。 ・キーワード・ゲーム ◎Who is he/she? カルタ取りゲーム	TT					観察 振り返りカード
4	第三者を紹介する表現に慣れ親しむ。	・Who is he/she? カルタ取りゲーム ・５の３友達紹介クイズ ◎先生クイズを作る	TT	や			身近な人のできることや得意なことなどについて，考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。	観察 振り返りカード
5	第三者を紹介する表現に慣れ親しむ。	・Who is he / she? かるた・ゲーム ・５の３友達紹介クイズ ◎先生クイズ大会をする	TT	聞	聞		身近な人のできることや得意なことなどを聞き取る技能を身に付け，具体的な情報を聞き取っている。	観察 振り返りカード
⑥	他者に配慮しながら，身近な人について紹介する。	・学級の友達紹介クイズ ◎写真を見せながら，身近な人の魅力を紹介する。	TT	や	や		身近な人の魅力を伝えるために，できることや得意なことなどの内容を選んで表現している。	観察 振り返りカード
7	身近な人について紹介カードを書く。	・学級の友達紹介クイズ ◎紹介したい人物の魅力が伝わるカードを書く。	TT	書			例文を参考に，慣れ親しんだ身近な単語を４線の正しい位置に書き写している。	観察 ワークシート 振り返りカード

本時では，記録に残す評価は行わないが，目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても，教師が児童の学習状況を確認する。

本時では，記録に残す評価は行わないが，目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても，教師が児童の学習状況を確認する。

3．学習評価の具体

④「６　単元指導計画」では、第５時に「聞くこと」、第６時に「話すこと［やり取り］」について、それぞれ「思考・判断・表現」で記録に残す評価を行っているが適切か。

６　単元指導計画（全７時間）※⑥は，本時

時	目標	主な活動（◎中心活動）	指導形態	評価 知	評価 思	評価 主	評価 本時における主な評価規準	評価方法
1	第三者を紹介する表現を知り，単元の見通しをもつ。	◎先生達の身近な人についての紹介を聞き，単元のゴールをイメージする。 ・できることを伝え合う。	TT			聞	身近な人のことをよく知るために，できることや得意なことなどについて，具体的な情報を聞き取ろうとしている。	観察 振り返りカード
2	家族に関する表現に慣れ親しむ。	・家族に関する表現を知る。 ・キーワード・ゲーム ◎ラッキーカード・ゲーム	TT				本時では，記録に残す評価は行わないが，目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても，教師が児童の学習状況を確認する。	観察 振り返りカード
3	得意なことを表す表現に慣れ親しむ。	・有名人の得意なことを知る。 ・キーワード・ゲーム ◎Who is he/she? カルタ取りゲーム	TT				本時では，記録に残す評価は行わないが，目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても，教師が児童の学習状況を確認する。	観察 振り返りカード
4	第三者を紹介する表現に慣れ親しむ。	・Who is he/she? カルタ取りゲーム ・５の３友達紹介クイズ ◎先生クイズを作る	TT	や			身近な人のできることや得意なことなどについて，考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。	観察 振り返りカード
5	第三者を紹介する表現に慣れ親しむ。	・Who is he / she? かるた・ゲーム ・５の３友達紹介クイズ ◎先生クイズ大会をする	TT	聞	聞		身近な人のできることや得意なことなどを聞き取る技能を身に付け，具体的な情報を聞き取っている。	観察 振り返りカード
⑥	他者に配慮しながら，身近な人について紹介する。	・学級の友達紹介クイズ ◎写真を見せながら，身近な人の魅力を紹介する。	TT	や	や		身近な人の魅力を伝えるために，できることや得意なことなどの内容を選んで表現している。	観察 振り返りカード
7	身近な人について紹介カードを書く。	・学級の友達紹介クイズ ◎紹介したい人物の魅力が伝わるカードを書く。	TT	書			例文を参考に，慣れ親しんだ身近な単語を４線の正しい位置に書き写している。	観察 ワークシート 振り返りカード

3．学習評価の具体

④「６　単元指導計画」では、第５時に「聞くこと」、第６時に「話すこと［やり取り］」について、それぞれ「思考・判断・表現」で記録に残す評価を行っているが適切か。

６　単元指導計画（全７時間）※◎は，本時

時	目標	主な活動（◎中心活動）	指導形態	評価 知	評価 思	評価 主	評価 本時における主な評価規準	評価方法
1	第三者を紹介する表現を知り，単元の見通しをもつ。	◎先生達の身近な人についての紹介を聞き，単元のゴールをイメージする。 ・できることを伝え合う。	TT			聞	身近な人のことをよく知るために，できることや得意なことなどについて，具体的な情報を聞き取ろうとしている。	観察 振り返りカード
2	家族に関する表現に慣れ親しむ。	・家族に関する表現を知る。 ・キーワード・ゲーム ◎ラッキーカード・ゲーム	TT				本時では，記録に残す評価は行わないが，目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても，教師が児童の学習状況を確認する。	観察 振り返りカード
3	得意なことを表す表現に慣れ親しむ。	・有名人の得意なことを知る。 ・キーワード・ゲーム ◎Who is he/she? カルタ取りゲーム	TT				本時では，記録に残す評価は行わないが，目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても，教師が児童の学習状況を確認する。	
4	第三者を紹介する表現に慣れ親しむ。	・Who is he/she? カルタ取りゲーム ・５の３友達紹介クイズ ◎先生クイズを作る	TT	や			身近な人のできること[illegible]ことなどについて，[illegible]持ちなどを伝え合う技能[illegible]付けている。	観察 振り[illegible]
5	第三者を紹介する表現に慣れ親しむ。	・Who is he / she? かるた・ゲーム ・５の３友達紹介クイズ ◎先生クイズ大会をする	TT	聞	聞		身近な人のできることや得意な[illegible]どを聞き取る技能を身に[illegible]な情報を聞き取っ[illegible]	観察 振り返りカード
⑥	他者に配慮しながら，身近な人について紹介する。	・学級の友達紹介クイズ ◎写真を見せながら，身近な人の魅力を紹介する。	TT	や	や		身近な[illegible]を伝えるために，でき[illegible]や得意なことなどの内容を選んで表現している。	観察 振り返りカード
7	身近な人について紹介カードを書く。	・学級の友達紹介クイズ ◎紹介したい人物の魅力が伝わるカードを書く。	TT	書			例文を参考に，慣れ親しんだ身近な単語を４線の正しい位置に書き写している。	観察 ワークシート 振り返りカード

身近な人のできることや得意なことなどを聞き取る技能を身に付け、具体的な情報を聞き取っている。

身近な人を紹介し合うために、できることや得意なことなどについて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。

3．学習評価の具体

④「６　単元指導計画」では、第５時に「聞くこと」、第６時に「話すこと［やり取り］」について、それぞれ「思考・判断・表現」で記録に残す評価を行っているが適切か。

○Activity ◎写真を見せながら，身近な人を紹介し合う。 ①ペアで紹介する。 C1C2: Hello. C2: Who is she? C1: She is Yumi. She is my sister. She is good at drawing. C2:Nice. ②全体で紹介する。	●これまでの学習を振り返り，魅力を伝えるために，自分が伝えたい内容を考えさせ，必要があれば練習もさせる。 ●よりよく伝えるためにジェスチャーを使ったり，相手の言葉を繰り返しながら聞いたり，よい関わりをしている児童を紹介する。 ●表現で困ったことがあれば，全体で共有し，使える表現を少しずつ増やしていく。	●表現が分からない児童に個別に対応したり，児童の困ったことを全体で共有したりする。

3．学習評価の具体

④「６　単元指導計画」では、第５時に「聞くこと」、第６時に「話すこと［やり取り］」について、それぞれ「思考・判断・表現」で記録に残す評価を行っているが適切か。

○Activity ◎写真を見せながら，身近な人を紹介し合う。 ①ペアで紹介する。 C1C2: Hello. C2: Who is she? C1: She is Yumi. She is my sister. She is good at drawing. C2:Nice. ②全体で紹介する。	●これまでの学習を振り返り，魅力を伝えるために，自分が伝えたい内容を考えさせ，必要があれば練習もさせる。 ●よりよく伝えるためにジェスチャーを使ったり，相手の言葉を繰り返しながら聞いたり，よい関わ　ている児童を紹介す。 ●表現で困ったことがあれば，全体で共有し，使える表現を少しずつ増やしていく。	●表現 に個 児童 体で

◇身近な人の魅力を伝えるために、伝えたい内容(語句や表現)を選んで表現している。

3．「なるほど！小学校外国語③ 学習評価」動画の振り返り

評価規準の作成

自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために，相手の誕生日や好きなもの，欲しいものなど，具体的な情報を聞き取ったり，誕生日や好きなもの，欲しいものなどについて伝え合ったりできる。また,アルファベットの活字体の大文字を書くことができる。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<知識>月日の言い方や，I like/want ～. Do you like/want ～? What do you like/want? When is your birthday?，その答え方について理解している。 <技能> 誕生日や好きなもの，欲しいものなど，具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。	相手のことをよく知るために，誕生日や好きなもの，欲しいも のなど，具体的な情報を聞き取っている。	相手のことをよく知るために，誕生日や好きなもの，欲しいものなど，具体的な情報を聞き取ろうとしている。
話すこと[やり取り]	<知識>月日の言い方や，I like/want ～. Do you like/want ～? What do you like/want? When is your birthday?，その答え方について理解している。 <技能>誕生日や好きなもの，欲しいものなどについて，I like/want ～. Do you like/want ～? What do you like/want ～? When is your birthday?等を用いて，考えや気持ちなどを伝え合う技能を身に付けている。	自分のことをよく知ってもら ったり相手のことをよく知っ たりするために，自分や相手の 誕生日や好きなもの，欲しいも のなどについて，お互いの考え や気持ちなどを伝え合ってい る。	自分のことをよく知ってもら ったり相手のことをよく知っ たりするために，自分や相手の誕生日や好きなもの，欲しいも のなどについて，お互いの考えや気持ちなどを伝え合おうと している。

自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために

3．学習評価の具体

④「６　単元指導計画」では、第５時に「聞くこと」、第６時に「話すこと［やり取り］」について、それぞれ「思考・判断・表現」で記録に残す評価を行っているが適切か。

○Activity ◎写真を見せながら，身近な人を紹介し合う。 ①ペアで紹介する。 C1C2: Hello. C2: Who is she? C1: She is Yumi. She is my sister. She is good at drawing. C2:Nice. ②全体で紹介する。	●これまでの学習を振り返り，魅力を伝えるために，自分が伝えたい内容を考えさせ，必要があれば練習もさせる。 ●よりよく伝えるためにジェスチャーを使ったり，相手の言葉を繰り返しながら聞いたり，よい関わ　ている児童を紹介する。 ●表現で困ったことがあれば，全体で共有し，使える表現を少しずつ増やしていく。	●表現 に個 児童 体で

◇身近な人の魅力を伝えるために、伝えたい内容(語句や表現)を選んで表現している。

３．学習評価の具体

本動画を視聴して、以下のことを検討をしていただきました。

①「３　単元の目標」と「４　単元の評価規準」はあっているか。

②「６　単元指導計画」で「評価」場面のある時間の目標と、その「本時における評価規準」はあっているか。

③「６　単元指導計画」では、第1時に「聞くこと」について「主体的に学習に取り組む態度」で記録に残す評価を行っているが、適切か。

④「６　単元指導計画」では、第５時に「聞くこと」、第６時に「話すこと［やり取り］」について、それぞれ「思考・判断・表現」で記録に残す評価を行っているが適切か。

3．学習評価の具体

「学習評価の在り方ハンドブック」

「学習評価の在り方ハンドブック」

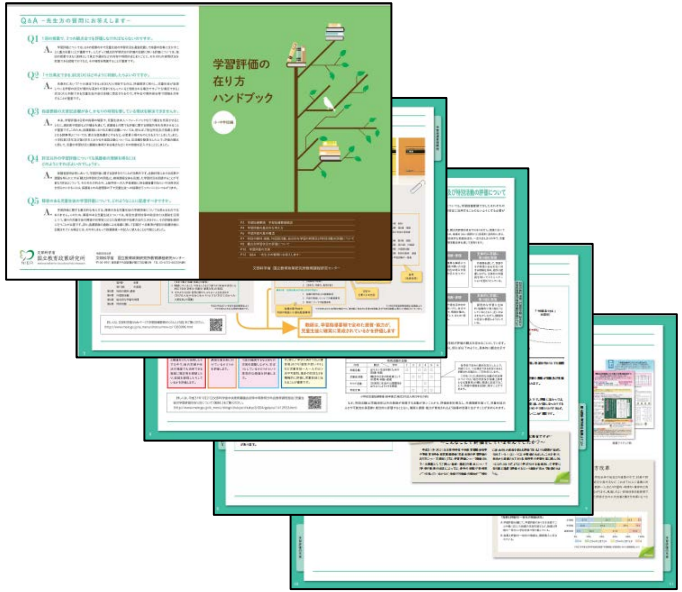
「学習評価の在り方ハンドブック」
(小・中学校編)
(令和元年6月) (PDF 3.91MB)

「学習評価の在り方ハンドブック」
(高等学校編)
(令和元年6月) (PDF 3.83MB)

「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料　小学校外国語・外国語活動」

3．学習評価の具体

「学習評価の在り方ハンドブック」



「学習評価の在り方ハンドブック」

「学習評価の在り方ハンドブック」
(小・中学校編)
(令和元年6月) (PDF 3.91MB)

「学習評価の在り方ハンドブック」
(高等学校編)
(令和元年6月) (PDF 3.83MB)

※国立教育政策研究所HPに掲載

3．学習評価の具体

「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料　小学校外国語・外国語活動」

第1編
第2編
第3編
　6事例

※国立教育政策研究所HPに掲載
※東洋館出版より発刊